

名古屋市病院事業会計 令和3年度予算の概要

令和3年度の病院事業会計の収益的収支予算は、総事業収益を427億2,441万円余、総事業費用を528億2,126万円余と見込んでおり、100億9,685万円余の赤字となっております。総事業収益のうち、緑市民病院にかかる収益は3億8,092万円余、総事業費用のうち、緑市民病院にかかる支出は5億4,705万円余と見込んでおり、1億6,612万円余の赤字となっております。

東部医療センター及び西部医療センターについては、医師の安定的な確保、医療の質の更なる向上、臨床研修・研究の充実等の観点から、令和3年3月31日をもって、市立病院としては廃止し、令和3年4月1日より、名古屋市立大学医学部附属病院化を実施します。附属病院化に伴い、資産や負債の整理を行ったことで、特別利益として423億4,348万円余、特別損失として522億7,420万円余を計上しております。

また、緑市民病院は、平成24年度から指定管理者制度を導入しており、地域密着型の病院としての役割を果たすことができるよう、必要な助言・指導・監督を行います。

病院事業会計の収支

(単位：千円)

区	分	令和3年度予定額
収入	一般会計補助金	212,584
	その他緑市民病院にかかる収入	168,345
	附属病院化にかかる特別利益	42,343,483
	計	42,724,412
支出	人件費	50,511
	経費	240,352
	減価償却費	227,484
	その他緑市民病院にかかる支出	28,711
	附属病院化にかかる特別損失	52,274,208
	計	52,821,266
収	支	△ 10,096,854